

2022 年度後期における「学生による授業評価アンケート」に対するコメント

2022 年度後期における「学生による授業評価アンケート」の実施に際しましては、ご協力いただいた学生の皆様並びに非常勤講師の皆様、専任教員の皆様に感謝申し上げます。

さて、2022 年度後期「学生による授業評価アンケート」の全体の結果を概観していくことにいたします。まず回答率ですが、全在生に対する回答者数におきましては約 49%となりました。2022 年度前期は約 76%と回復傾向を示したのですが、今期におきましては 2021 年度後期と同様の回答率になってしまいました。本アンケートの実施方法を、ユニバーサルパスポートを用いての方式に変更以来、思うように回答率が上がらず、FD・SD 委員会におきましては本アンケートの回答率の向上を重要課題と位置付け、皆様に協力依頼を行ってまいりましたが、ここまで解決しないままにきております。引き続き本アンケートの回答率を上げることを最重要課題として位置付け、回答率向上に向けての工夫を行って参りますので、どうぞご理解いただきまして、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

上記の回答率から考えますと結果の解釈には慎重であるべきことを踏まえまして、以下に今年度後期における全体的な特徴を述べていくことにします。まず A 領域の「あなた自身について」ですが、「⑤シラバスに掲げられている到達目標を達成できそう」の項目に関してのみ平均は 3.96 と 3 点台でしたが、「①この授業への出席割合」「②授業に積極的に参加した」「④授業を受けて関連領域をさらに深く勉強したくなった」「⑥この授業全般において満足である」の 4 項目においては、平均が 5 点満点中 4 点を越えていました。こうした結果に基づきますと、学生の皆さんは「授業の出席率は非常に高く、尚且つ、授業には積極的に参加したということ、そして、受講生の多くは授業で学修した領域をさらに深く学びたいと思うようになり、シラバスに掲げられている到達目標を達成できそうだと感じている」、このように自身の学修状況を認識していることがうかがえます。そして、学修状況をこのように認識しているため、授業全般に対する満足度も高いものになっていた。本アンケート結果からは、このように推測することが可能かと思われます。

次に、B 領域の「授業や教員の教え方について」ですが、「⑦学生が集中しやすい授業だった」「⑨学生の理解度を確認しながら授業が行われていた」「⑩授業の学習目標を学生に伝えていた」の 3 項目においては、平均が 5 点満点中 4 点を越えておりました。また、「⑧授業は質問や意見などを発言しやすい様子であった」においては、若干平均点は落ちるものの 3.82 でした。こうした結果から考えますと、学生の皆さんは教員の授業運営に対する認識として、「教員は学習目標を伝え、個々の受講生の理解度に気を配りながら、授業に集中できるように教室をコントロールし、質問にもある程度応じていた」というように認識していたことが推測されます。

A 領域、B 領域の結果をまとめますと「授業中において、受講生は積極的に集中して取り組み、到達目標を達成できそうな程度に学修できており、さらに学んでいきたいと思っている」、そして「教員は受講生が学習しやすい環境を整えている」、本学の学生は授業に対してこのような認識を持っていることが推測されます。そして、授業評価におけるこうした傾向が例年通りであることから考えますと、学年や年度にかかわらず、本学における教育活動の大きな特徴の 1 つといえるものと思います。2022 年度における、各資格の国家試験の合格率、及び、全学的な就職率が高いのは、このように授業を中心とした学修活動が行われていることが 1 つの要因になっているものと思われます。

また、本学の大きな課題の 1 つである受講生の予習や復習といった授業外学習時間についてですが、微増傾向にあるものの、まだ十分とはいえない状態かと思われます。学修者本位の教育が展開されていくためには、受講生が授業時以外でも主体的に積極的に学修していく必要があります。したがって、授業時以外でも学生が主体的に学修していくことができるための授業作りとそのための学生支援の在り方を検討していくことが、授業の質をあげていくということであり、このことが本学に求められている現在の最重要課題といえます。2023 年度におきましても、引き続き一人ひとりの学生さんとの丁寧な対話を続けていくことによって、この課題の解決をめざしていきたいと思っております。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

FD・SD 委員会委員長 須河内 貢

授業評価アンケート

2022年度 後期

授業コード：									
授業科目名：	全 体				受講者数： 11338名				
担当教員名：					回答者数： 5541名				

学科	人間科学部 社会福祉学科	人間科学部 医療福祉学科 介護福祉専攻	人間科学部 医療福祉学科 視能訓練専攻	人間科学部 子ども教育学科	人間科学部 健康心理学科	人間科学部 医療心理学科 臨床発達心理専攻	人間科学部 医療心理学科 言語聴覚専攻	人間科学部 理学療法学科	心理学部 心理学科
	1068	38	332	911	89	48	20	117	931

学科	保健医療学部 理学療法学科	保健医療学部 作業療法学科	保健医療学部 言語聴覚学科		学年	1年次	2年次	3年次	4年次
	1237	446	304			2510	1663	1110	258

設問No	設問文	1	2	3	4	5	*全平均
		そう思う	やや そう思う	どちらでも ない	あまりそう 思わない	そう 思わない	

A.あなた自身について

①	この授業への出席割合は 1.毎回 2.ほとんど 3.3分の2ぐらい 4.半分ぐらい 5.半分未満	2966	2004	466	37	49	4.41
②	授業に積極的に参加した	2633	2133	573	121	48	4.30
③	この授業1回あたりで予習や復習に費やした時間は 1.2時間以上 2.1時間以上~2時間未満 3.30分以上~1時間未満 4.30分未満 5.全くしていない	237	635	1614	1694	1336	2.41
④	授業を受けて、関連領域をさらに深く勉強したくなった	1895	2219	1023	236	141	4.00
⑤	シラバスで掲げられている到達目標を達成できそうだ	1672	2345	1228	165	106	3.96
⑥	この授業全般についてあなたは 1.満足である 2.やや満足である 3.どちらでもない 4.やや不満である 5.不満である	2350	1964	944	164	92	4.15

B.授業や教員の教え方について

⑦	学生が集中しやすい授業だった	2582	1788	879	161	96	4.20
⑧	授業は質問や意見などを発言しやすい様子であった	1873	1626	1374	416	224	3.82
⑨	学生の理解度を確認しながら授業が行われていた	2126	1843	1125	275	145	4.00
⑩	授業の学習目標を学生に伝えていた	2483	1785	999	128	120	4.16

